

地域トピックス

～地区センターからの話題をお届けします～

◆郷土の偉人を偲ぶ —土淵町—

佐々木喜善祭(土淵町地域づくり連絡協議会主催)は喜善の命日に当たる9月29日、伝承園と土淵地区センターで行われ、地域住民ら約100人が郷土の偉人の遺徳をしのびました。

関係者らによる墓参りの後、伝承園にある銅像前では、土淵小の児童による「語り部」や山口さんさ踊りが披露。「辻石谷江の老媪夜譚」と題して、石井正巳市立博物館長による講演会も行われ、故人の功績を再認識しました。



故人をしのび墓参りを行う関係者ら

◆健康もりもり教室 —青笹町—

健康づくり総合大学の一環として、青笹健康もりもり教室(青笹スポーツクラブ主催)が青笹地区センターで開講しました。

10月10日に行われた第1回目の教室には、男性1人と女性14人の15人が参加。インストラクターの馬場明子さんからバランスディスクを使った運動を教わると、なれない動きに顔をゆがめながらも楽しく取り組んでいました。

教室は8回コースで毎週水曜日に行われます。



準備運動のストレッチ体操で体をほぐす参加者ら



もちまきでにぎわうみやもりホール屋外特設会場

多彩な催しで秋の一日満喫 2007 躍進みやもり祭を開催

2007躍進みやもり祭は10月7日、みやもりホールで行われ、1,100人の市民らでにぎわいました。

屋外特設ステージでは、宮守町内保育園・幼稚園の園児50人によるお遊戯でオープニング。園児たちの元気な踊りに会場からは大きな拍手が沸き上がりました。このほか、しし踊りや神楽などの郷土芸能やもちまきも行われ、訪れた市民らは秋の一日を満喫しました。

伊藤マサさん(宮守町)は、「みやもりホールに来るのは初めて。一日楽しんで帰ります」と笑顔を広げました。



はっきりとした口調で所信を述べる市長役の菊池芳子さん

本番さながらの熱いバトル 女性による模擬市議会開催

女性市民による「仮想と・お・の市議会」は10月10日、市議会本会議場で開かれ、本番さながらの熱い議論を交わしました。

地方自治法施行60周年を記念して行われたこの議会には、各団体に活躍する女性リーダー15人が参加。女性市民が市当局役となり、市幹部職員が議員役に扮して議会が開会。市長役の遠野地区交通安全母の会連合会の菊池芳子さんが「昭和回帰をコンセプトとした施策を展開する」と所信を表明。議員役の4人の市職員から環境問題などの一般質問が出されると、参加者は皆しっかりと口調で答弁していました。

マブリット、キバシヨールなど、多彩なステージイベントが多く、子どもから大人まで大々人気⑤



市内外の特産品が勢ぞろい 恒例遠野市産業まつり開催

第33回市産業まつりは10月13、14日の両日、遠野運動公園で開かれました。会場では「とおのこどもまつり」や「JAとおのふれあいまつり」、「森林のくに遠野まつり」、「とおの技能まつり」、「遠野ドライビングスクール杯サッカー大会」も同時開催。市内外の約40の企業や団体が出展し、採れたばかりの農産物や海産物、工芸品などが所狭しと並べられました。

また、ステージではしし踊りや保育園児による遊戯の披露、民謡ショーなど多彩なイベントが会場を盛り上げたほか、隣接する陸上競技場では、サッカー教室も行われ、来場者は実りの秋、スポーツの秋を満喫しました。

やさしい歌声にいやされて スローライフ子守り唄開催

スローライフ子守り唄コンサート(スローライフ遠野2007実行委員会主催)は10月6日、あえりあ遠野交流ホールで行われ、子ども連れの母親など約200人が楽しみました。

特定非営利活動法人(NPO法人)日本子守唄協会理事長の西館好子さんによるお話しと歌手の川口京子さんと稲村なおこさんによる子守歌16曲が披露。しっとりとした歌声と、優しいピアノの音色で耳慣れた子守歌が演奏されると、わが子を見詰めながら、歌を口ずさむ母親の姿が見られ、場内は優しい雰囲気に包まれていました。



美しい歌声で訪れた市民らを魅了する稲村なおこさん

旬をかみしめ郷土食を学ぶ 遠野旬を食べよう給食実施

遠野で採れた食材をふんだんに使った「遠野旬を食べよう給食」は10月10日、市内各小・中学校で行われ、子どもたちは訪れた生産者らとともに郷土の旬の味を楽しみました。

宮守小学校(菊池定雄校長、児童119人)4年生の教室では、宮守町の野菜生産者、山本幸子さんらが訪れ、マツタケやサクラシメジが入ったきのご飯や、芋の子汁などを子どもたちと一緒に味わいました。

菊池一馬君は「いつもの給食よりもおいしいです。きのご飯をおかわりして食べました」と笑顔を見せました。



地元食材をふんだんに使った給食をおいしそうにほお張る子どもたち